

令和3年度第3回 越谷市社会福祉審議会

地域福祉専門分科会会議録

日 時：令和4年(2022年)1月24日(月) 14時～

場 所：越谷市中央市民会館4階 第17・18会議室

○委員定数(17名)

○出席委員(15名)

大武 孝夫	委員	越谷市社会福祉協議会
関根 英子	委員	越谷市私立保育園・認定こども園協会
高野 淑恵	委員	越谷市手をつなぐ育成会
齊藤 峰雄	委員	越谷市民生委員・児童委員協議会
戸巻 正	委員	越谷市コミュニティ推進協議会
深野 弘	委員	越谷市自治会連合会
桑原 礼子	委員	やまびこ家族会
深井 功夫	委員	越谷地区保護司会
新美 由美子	副分科会長	越谷市ボランティア連絡会
清水 絹代	委員	越谷市老人クラブ連合会
高島 恭子	委員	埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科
森 恭子	分科会長	文教大学人間科学部人間科学科
福島 茂樹	委員	公募委員
松下 薫	委員	公募委員
根岸 幸徳	委員	公募委員

○欠席委員(2名)

間藤 大輔	委員	越谷市PTA連合会
中村 幸弘	委員	越谷市薬剤師会

○事務局出席者(5名)

中井 淳	地域共生部長	鈴木 研司	地域包括ケア課長
関 泰輔	地域共生推進課長	内田 元洋	地域共生推進課副課長
齋藤 将宏	地域共生推進課副課長	山本 集	地域共生推進課主査
小松原 和樹	地域共生推進課主事		

1 開 会

開会に伴い、森分科会長から挨拶をいただく。

その後、越谷市社会福祉審議会条例・第6条・第3項の規定により、会議は委員の半数以上の出席で成立することを説明。委員総数17名のうち15名が出席しているので、会議が成立することを報告した。

2 議 事

議事進行については、越谷市社会福祉審議会条例・施行規則・第6条・第2項の規定に基づき、森分科会長が議長となり議事を進行した。

初めに、本審議会が越谷市社会福祉審議会条例・施行規則・第5条の規定に基づき、原則公開であることを説明後、傍聴人について確認。傍聴人はいなかったため、そのまま議事を進行する。

(協議事項)重層的支援体制整備事業について①

資料に基づき、事務局から重層的支援体制事業について説明を行う。

まずは、資料・1ページの「重層的支援体制整備事業 利用時の流れ」について説明し、委員に意見を諮る。

質疑等(要旨)

【委員】

1ページ・左側のフロー図は理解できた。一方で、右側の市と社協の役割分担について、社協の負担が大きいように感じる。制度全体の組み立てを市が行っていくというのは理解できるが、個別の役割についても、社協の負担が減るように関わってほしい。また、業務内容に関する市と社協の調整が、どこまで進んでいるのか伺いたい。

【事務局】

説明上、市の役割分担について△と記載しているものが多いが、困難なケースには市も多く関わらなければならないと考えている。いただいた意見を参考にしながら、個別ケースにも参画していけるよう検討したい。市と社協の調整については、委託事業であり予算も発生するというところもあるので、今年度の夏ごろから月1回のペースで、両者で検討を行ってきた。この業務内容についても、両者間で確認をした上で提示しているものである。また、事業への理解を深めるため、外部の研修会等にも一緒に参加したりしている。本日いただいた意見も踏まえながら、今後も調整を図っていききたい。

【議長】

事業を受託する社協の意見はいかがか。

【委員】

同事業の委託を受けるにあたって、説明にあったとおり調整を行ってきており、今後より具体的な事業内容について、すり合わせを行っていく段階である。いずれにしても、来年度の業務にとどまらず、その先を見据える中長期的な視点を持ちながら、事業を実施していきたい。

【委員】

全体像は理解できたが、一方でアウトリーチの難しさがあると感じた。精神障害を持っている方などの訪問をするにあたり、必要に応じて医療従事者等も関わらないと

いけないケースもあると思うので、業務の具体的な取り組み内容に組み込んでもらいたい。

【事務局】

この事業におけるアウトリーチは、複合的な課題を持つ人への、人とのつながりを持つことなどを重視して設計されている側面がある。その方の抱えている課題を踏まえ、専門的な支援が必要となる場合には、関係者間の連携により、しっかり対応していきたい。委員の立場において、より具体的に関わりを持った方がいい関係機関があるならば、お尋ねしたい。

【委員】

特に精神障害を持っている方のケースにおいて、本人はそのことを自覚しておらず、医師との関わりを持っていないことが多い。CSWがアウトリーチ・訪問をするとのことだが、内容によってはCSWの力量を超えるような状況もあると思う。そのようなときに、医療的な支援が必要と判断し、すぐに医療機関につなげるなど、臨機応変な対応を行わないと、この事業が絵に描いた餅になりかねない。例えば精神科医が往診を行うなど、様々な支援が行えるようになるといい。

【事務局】

今の事例であれば、重層的支援会議の参加メンバーである「地域共生社会の実現に向けた庁内連携会議」の中に、精神的な悩みを抱えている人への対応を行う「こころの健康支援室」が属している。相談内容により関係課と密接に連携しながら、必要な専門機関の支援を受けられるよう調整することに努めたい。

(協議事項)重層的支援体制整備事業について②

その後、資料・2ページと別紙資料を用いて、「重層的支援体制整備事業実施計画」の内容について説明し、委員に意見を諮る。

質疑等(要旨)

【委員】

実施計画案の10ページ・支援体系図を見ると、内容が福祉の枠組みに収まってしまっている印象を受ける。例えば地域づくり事業は、コミュニティ推進協議会や自治会連合会も積極的に実施している。また、庁内連携会議のメンバーにも、これらを所管している市民活動支援課は属していない。将来的には、福祉の枠組みを超えるということも視野に入れる必要があると思う。

【事務局】

地域福祉は生活全般のことなので、福祉に関わることでないのは指摘のとおりである。庁内連携会議は、記載のメンバーでスタートすることとしたが、コミ協・自治会を所管する市民活動支援課にも説明はしており、段階的な発展をしていく可能性があるということで理解いただきたい。また、地域づくり事業については、コミ協・自治会が実施していること、また一般介護予防事業の担い手に、自治会メンバーがなりうることは理解している。実施計画案の地域づくり事業に記載している事業名は、あくまで社会福祉法に位置付けられた事業を記載しているものなので、事業を展開する中で、記載している事業以外でも、様々な地域の担い手との連携をしっかりと行っていきたい。

【委員】

この事業は多くの人との連携・協力が必要だと思う。様々な事業が地域で展開されるが、当事者以外はルールや仕組みを理解できていないという状況が見られるので、

協力者が事業内容をしっかり理解できるよう周知してほしい。自治会には、地域に関心のあり理解のある人が多いので、ぜひお願いしたい。

【委員】

このような福祉の問題は難しく、コミ協としては、まだまだ踏み込めていない側面があるように感じる。地域では自治会が身近な相談場所として活躍しているので、コミ協もしっかり協力できるよう努めたい。

【副分科会長】

人口が急激に増えているレイクタウン周辺は、自治会が未設置のところも多い。地域づくりも自治会がなければなかなか進んでいかない。転入者は自治会に加入しなくても困らない、生活できると考えているかもしれないが、自治会を中心に地域を盛り上げられるよう、市にも働きかけをお願いしたい。

【委員】

市の働きかけももちろん必要だが、個々の自治会としても加入するメリットをしっかりと見せていかないといけないと思っている。例えばゴミ出しや広報紙にしても、加入していないと出せない、もらえないというようなルールにするなど、自治会に加入し地域に貢献するんだというムードを作っていかなければならない。私の地区の自治会では、回覧板をしっかりと回すよう指導をしている。回覧板を回すことで、地域の情報を通じて交流が生まれるからである。私たちも第2のふるさととして自治会活動を盛り上げていくので、市はこのような事業が始まる際には、自治会にもしっかりと周知してほしい。

【事務局】

今年度に限らずこの分科会では、自治会活動の大切さについて様々ご意見をいただいております、おっしゃるとおりであると思う。平成18年から地域に設置された地域包括支援センターが、地区センターへの移設等を通してようやく地域に根付いてきたように、地域との連携は地道に充実させていくという面もあるかと思うので、今日の意見をしっかりと受け止め、今後の地域との連携強化に活かしたい。

【委員】

ここまでの話を伺い、改めて自治会を通じた地域づくりの大切さを感じることができた。一方で、地域から孤立し、自治会に入ることや、ゴミ出しや回覧板に協力することも難しいような、地域のつながりを持たない人も中にはいるのかなと思った。事業を実施するにあたって、ひきこもりや産後うつなど、対象としているケースをイメージしているのか、重層的支援会議はどのくらいの頻度で開催するのか、対象とする地域の範囲はどのくらいにするのかなど、具体的なイメージがあるのであれば伺いたい。

【事務局】

今日は事業の概略を説明したが、ご質問の事業のイメージもすでにできており、今後「実施マニュアル」を作成し、各相談支援機関等に説明していく予定である。

【議長】

マニュアル等を通じ、しっかり相談支援機関等への周知をすすめるとともに、今日いただいた意見を踏まえ、市と社協で調整を図るなど、検討を進めて欲しい。

(報告事項)事業実施に向けた今後の日程について

その後、資料・4ページの「事業実施に向けた今後の日程」について報告する。

～質疑等なし～

4 そ の 他

～事務局からの連絡事項なし～

5 閉 会

新美副分科会長より、閉会の挨拶。

分科会終了（～15時）